

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

47

令和3年4月より開始された「諏訪市見守りネットワーク事業」において、長野日報販売株式会社は諏訪市と協定を締結し、日常業務の中で地域の見守り活動を行っています。同事業は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政と民間事業者、警察などの協力機関が連携し、異変や行方不明が発生した場合に早期発見や必要な支援につなげる仕組みです。諏訪市においても高齢化が進む中で、数年前



から市や社会福祉協議会、生児童委員などの地域の見守り体制づくりについて生活支援コーディネーターとともに検討を行う中で立ち上がったネットワークです。当社では、約60名の配達員が市内1万2000世帯のお

ひとり きよ ひと
な とり
長野日報販売株式会社 店長 名取 清仁

宅へ新聞を配達しています。

配達員は配達するエリア決まっております。配達ほぼ毎日あるため、「いつもと様子が違う」という地域の異変に気づきやすいというメリットがあります。もし、配達に行ったら先のお宅で何日も新聞がたまっていたり、電気がつけっぱなしになっていたりするなどの異変に気付いた場合は、市や警察に連絡をして安否確認につなげています。今年から開始された見守りネットワーク事業により、異変に気付いた場合の連絡先（通報先）が明確になったため、スムーズに安否確認につなげられるようになったと感じています。

また、当社では、新聞を購入していただいているお客様に、お米や玄米、お餅（期間販売）などの配達も行っています。特に高齢者の方からは「自分で買いに行くのは重く大変だから助かる」と大変喜ばれています。新聞代の集金をはじめ、お米などの配達にはないかなど、さりげない見



諏訪市内に「長野日報」を配達する拠点となる長野日報販売本社＝諏訪市中洲福島

守りを大切にしています。

時代の変化とともに、ご近所関係や地域つながりが希薄になりがちな現在の世の中ですが、地域に密着した地元の販売店として、新聞配達を通じてつながっている方々との縁を大切にしながら、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりのために、当社の取り組みが少しでも力になれば幸いです。そして多職種連携の充実に協力していきたいと思えます。

新聞配達による地域の見守り活動

（毎月第2日曜日掲載）

住み慣れた街で生涯、安心して暮らしたい。その暮らしを支える生活支援体制を整備するには、生活支援コーディネーターが中心となって協力機関を結び付けています。諏訪市では、地域包括ケアシステムの構築に取り組む地域医療・介護連携推進センター「ライフドアすわ」が行政と協働して取り組んでいます。（ライフドアすわ）